



2022年12月21日(水)発行

発行:社会福祉法人この指とまれ

この指新聞

メールアドレス

この指とまれ



《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 TEL 042-564-2883

《デイグループほっと・グループホームりすむ・りすむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2 TEL 042-564-3110

《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp Fax 042-564-2873

令和4年のご報告と今後の課題について・制度上の問題も

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。 **本部→**

コロナ禍での生活が続き、感染を防ぎながら活動を広げようと模索した年でした。その中で各事業とも大きなクラスターが出ず一年終える事ができました。しかし、法人の収入は減り続けています。厚生労働省の報酬改定は2021年4月から2024年3月までが対象です。次期改定により収入が上がるまで（上がらないかもしれません）何とか持ちこたえなければなりません。特に、当法人の中心的事業である、放課後等デイサービス事業「デイグループほっと」「デイグループぱーく」の報酬が激減している中、今年の夏はコロナ感染による学級閉鎖が多く、大幅な利用者数減となりました。何の補助もない中、コロナ融資を受けてしのぎました。共同生活援助事業「グループホームりすむ」も三年に一度の「第三者評価」の年で、出費が増えました。その中で、何とか支援の質を落とさず「安心できる場所」を提供するよう努めました。次回の報酬改定で、是正される事を望みます。

理事長 鈴木真千子



制度の面では「学校を卒業すると放課後等デイサービスが使えなくなる事で、保護者の就労が保障出来ない」という事が課題となっています。放デイを利用していた時は学校が終わってから、放デイに行けるので夕方まで安心して働けます。福祉の就労では、15時～16時に終わってから過ごす所がありません。留守番が出来ない人も沢山います。一人親も多く、切実な問題です。就学中にも、小学校時代、夏休みなど長期休みに、学童と放デイを併用して、保護者の就労を続ける事ができていた方も、中学になると学童を使えなくなるので困っています。元々、学童が使えない子もいます。

解決策として「夕方の青年学級など、すきまを埋める事業を新設する」「放デイの報酬を、学童を使用しなくても良いように、支援時間に比例するものにする」などが考えられます。放課後等デイサービスの主な目的の一つが「療育」ですが、保護者の就労を守るのも、大切な役割です。誰もが安心して暮らせる制度改定を心から望みます。



報酬が減っている中、皆様からのご寄付を今年も沢山いただきました。運営費にも充てられる貴重なご寄付です。大切に使わせていただきます。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

令和5年も引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます

←清水分室

放課後等ディサービス事業

今年も新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながらの活動になりました。子ども達も、検温、手指消毒、手洗いなど日常生活でも行っているのでだいぶ慣れてきました。

夏に各地でコロナの感染爆発がありましたがこの指とまれでは休むことなく無事に営業を続けることができました。皆さん一人一人の感染対策のおかげだと思います。

今年もスタッフの人数を削減せざるを得ない状況が続きスタッフの動き方や見守りの仕方など工夫をしながらの一年になりました。遊びに関しては、子ども達の一人一人やりたいことをできるような環境を作るよう努めました。少しずつおもちゃを増やしたり、公園に行ったり散歩に行ったりなどの支援も増やしています。今後もこのような支援が続けられるように日々邁進して参りたいと思います。

☀️ デイグループほっと ☀️

従来、ほっとでは、中高生中心の場所でしたが、今年度は、小1から高3までと年齢幅が広く落ち着いた雰囲気の場所から、活気あふれた場所に様変わりしました。ほっとでの遊びは、段ボール工作、ぬいぐるみなどを使ったごっこ遊び、積み木、イス、座布団などを並べて渡り歩く手作りアスレチック、バスケットなど、自分たちで考えた遊びをしています。上級生と下級生との関わり、同級生同士の関わりを遊びを通して、泣いたり笑ったりしながら身に着けていますが、常にスタッフの見守りは必要です。スタッフが間に入ることで、自分の意見を言えたり、力加減を覚えたりと成長につながっています。少ないスタッフの人数で、どうしたら、子供たちが楽しく安全に過ごせるかを考えながら、スタッフ同士子供たちの事を共有し毎日の支援をしています。

コロナ禍で、感染対策は続いているが、子供たちにとって、ゆったりくつろげる場所でいられるよう、スタッフ一同これからも、気を引き締めて頑張っていきたいと思っています。(木原則子)



🌙 デイグループぱーく 🌙

今年もまだコロナは収まりそうにないですが、そのような状況でも子ども達は元気に遊んでいます。

ぱーくでの今年の人気のある遊びは、プラレール、パズル、日本地図を使ったパズル、折り紙・空き箱・ダンボールを使った工作、水鉄砲などです。変わったユニークな遊びではYOUTUBE配信ごっこという現代っこらしい遊びをする子もいます。

今後も子ども達が創意工夫をして遊べる環境を整えていきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。(浅利裕司)



指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

相談支援にじ  (平成27年から福祉支援の受給決定に支援計画作成が必要となりました)
現在の契約者数は児童44名、成人36名、計80名です。就学前のお子様から80代まで様々な方々にご利用いただいています。暮らしの場、日中活動、余暇・楽しみ、といった様々な場面で、ご本人とご家族が安心して希望する生活を送っていくようにとの思いで面談させて頂き、計画の作成とモニタリングを行っております。計画変更は予定されている時期に関わらず、ご希望があればいつでもさせていただけますので、なにかお困りのことがありましたら、いつでもご遠慮なくご相談ください。(前橋美保)

共同生活援助事業・短期入所事業

◆グループホームりずむ・りずむショートステイ◆

まだまだ感染者が多い中 予防対策と声掛けの毎日に追われています。

未だ 各居室でおやつ、夕食を摂りリビングでの会話する時間も限られ 小さな居場所となっています・・

生活の中で人との関わりはとても大事なこと！

思いっきり笑ったり～時には怒ったりと・・・

それぞれが 自分らしく過ごして欲しいと思います。

そのために 利用者の方との信頼関係を重視し悩みなど抱え込まないよう 環境作りを支援員一同 心掛けていきたいと思います。

全体でのレクリエーションは出来ていませんが 週末利用し数人での食事会を楽しんだり また個人支援でディズニーシーへ外出したりと満喫しました。

他にも 東村山のイベントに参加し予想外？のスタンプラリーで

野山北公園方面まで歩くはめになり・・((^_^A)出店の食べ物が美味しかった！

駅前の志村けんさんの銅像の前で「アイーン！」のポーズ！！

一日盛りだくさんの日を過ごしたりしました。

ショートステイは定期的に利用している方と テレビに向かい

野球観戦～！！みんなで応援し楽しんだり・・・

こんな時間も大切にしたいです。

いつまでも良き応援団でいたいです★（高谷明美）



↑志村けんとアイーン

会の行事

現在この指とまれでは、法人全体行事として、成人と卒業を祝う会・夏のワークショップを行っています。

成人と卒業を祝う会では、成人や卒業を迎えた方が、自分の好きな事・得意な事を披露してくれ、皆でお祝いし、とても温かい会になりました。夏のワークショップでは、初の試み！「小平ゆいま～るエイサー」の皆様をお招きし、エイサーの演舞やワークショップ（体験）を行っていただきました。

コロナ感染対策にご協力いただいた参加者の皆様には、心より感謝申し上げます。

次の行事は、来年3月の「成人と卒業を祝う会」です。

皆様のご参加、お待ちしております。（横田愛）夏のワークショップの様子→



《以下の事業は、NPO法人リサイクルショップ「らら」の補助を受け運営しています》

♪個別音楽療法♪

賛助団体「リサイクルショップらら」の支援を受け、土曜日の午後に行っています。現在は、4名（デイ利用1名・卒業生3名）の方が個別音楽療法に参加されています。担当スタッフは、3人で交代して行っています。スタッフは、一人一人の実態や目標に合ったプログラムを準備し、セッション時には一人一人を受容することを心掛けています。その結果、安心できる環境の中で、のびのびと自分を表現出来る場として、楽しみにしてくれています。今年もコロナ禍で、思ったようにセッションを行うことができませんでした。又、スタッフそれぞれの事情で毎月のペースを守る事ができませんでした。

来年度は例年のペースで行えることを願っています。（鈴木眞千子）

◆福祉祭◆ 福祉祭は毎年、NPO 法人「リサイクルショップらら」のご協力のもと、「らら」の商品の主に古着を売って、この指とまれの活動資金に当てさせていただいています。

今年は昨年に続き、リモートでの参加団体の紹介と、規模を縮小してのバザーが中央公民館で行われました。「らら」のボランティアさん8名、この指とまれスタッフ7名、りずむ入居者2名、デイ卒業生4名、が全員ボランティアで手伝って下さったのでスムースに運営出来ました。

今年はホールの中で、イベントの合間に売るしかなかったので、来年こそ、例年のような賑やかな福祉祭が開かれることを期待しています。(鈴木眞千子)

賛助団体

NPO 法人「リサイクルショップらら」

11月5、6日の産業祭に続き、13日の福祉祭とやっと市の行事が復活しました。福祉祭には「この指とまれ」の看板での出店ですが、「らら」が品揃えをすべて担当しています。当日は晴天でしたが、やはり人出の少ない会場でした。今年も「らら」のボランティアさんのお手伝いをいただきました。

コロナの影響で「らら」の営業時間を PM1:00~4:00 に短縮していますが、定着してきました。毎日お客様との親しい会話のはずむ店内です。

NPO 法人「リサイクルショップらら」理事長 千葉總子

「リサイクルショップらら」(東大和市南街 5-90-8)は「この指とまれ」を支えてくださっている賛助団体です。NPO 法人時代の「この指とまれ」の賛助会員が中心になって構成されています。地域の方々から、寄付して頂いた品物をボランティアの方々の協力のもと販売しており、売り上げを毎年この指とまれに寄付していただいている。設立から23年経ち、地域のコミュニケーションの場にもなっています。

ご家庭で不要になった品々のご寄付を募っています。

連絡は 042-566-6465 又は、この指まで



寄附のお願い

日頃より、この指とまれの活動にご支援いただきありがとうございます。

この指とまれの、活動の充実と運営のために、皆様からのご寄付を募集しております。

皆さまから頂いたご寄付は、買いたくても買えなかつた品々を買わせていただいたら、報酬減とコロナ禍で厳しくなつた運営費にも充てさせていただいています。

当法人は、「寄附金特別控除法人」に認定されています。5年ごとの更新ですが、2021年9月12日に無事更新出来ました。ご寄附してくださった方々が、確定申告の際、税金の控除を受けることができます。又、社会福祉法人へのご寄付の際には「寄附申込書」が必要となります。ホームページから印刷していただかく、ご連絡をいただければ、送付させていただきます。お手数をおかけして申し訳ありませんが、「寄附申込書」にご記入の上郵送又は FAX (FAX 番号 042-564-2873) でご送付ください。よろしくお願ひいたします。

<振り込み先> 三井住友銀行 東大和支店 普通 口座番号 4263883 社会福祉法人この指とまれ

郵便振替口座 00100-9-387225 社会福祉法人この指とまれ

※現金でも承っております。

●編集後記●

新型コロナウィルス感染収束ままならず、2022 年が終わろうとしていますが、この指の現場職員皆さんのがんばりで何とか乗り切ってこられた 1 年だったと思います。職員の皆さんとの利用者の方との関わり、ご家族への対応、感染対策等で手一杯の中、事務作業にも追われている様子を日々近くで見てきました。本当に疲れ様です。

「何とかしてあげたいけど、どうにもできない」というジレンマを抱える職員もあるかもしれません。

利用者、ご家族、職員の皆さんから、日々を大事に生きることの大切さを学ばせていただいている。(村田智恵)